

授業科目 相談援助演習 III

【担当教員名】 春木 邦子		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 ソーシャルワーク実践の基礎となる相談援助の技術を学ぶとともに、事例検討などを通して援助過程に必要な援助技術や実践方法（専門知識に裏付けられた思考や判断）、援助者としての態度などを修得する。 相談援助に関する実習の基盤となる実践力の獲得、向上を目指す。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. ソーシャルワーク実践の基礎となる技術を習得する。 2. ソーシャルワークの実践過程への理解を深め、専門的知識に裏付けられた展開方法を習得する。 3. ソーシャルワークの実践事例を通して、ソーシャルワーカーが備えているべき情報処理技能、コミュニケーション技能、関係形成技能などについて考える。 4. クライアントの状況に応じた支援の方法を考える。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	オリエンテーション	1	自己紹介 学習計画の確認 ほか		
2	実践ツールの活用	1	ジェノグラム ほか		
3	実践ツールの活用	1	エコマップ、ネットワークマップ ほか		
4	実践ツールの活用	1	アセスメント ほか		
5	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	2, 3, 4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ		
6	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	2, 3, 4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ		
7	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	2, 3, 4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ		
8	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	2, 3, 4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ		
9	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	2, 3, 4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ		
10	チームアプローチの実践	2, 3, 4	連携やネットワークング カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ		
11	チームアプローチの実践	2, 3, 4	連携やネットワークング カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ		
12	チームアプローチの実践	2, 3, 4	連携やネットワークング カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ		
13	支援方法の検討	1, 2, 3, 4	実践事例を通じて具体的な支援方法を考える		
14	支援方法の検討	1, 2, 3, 4	実践事例を通じて具体的な支援方法を考える		
15	まとめ	1, 2, 3, 4	考察 振り返り 自己課題の確認		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		社会福祉士 相談援助演習	日本社会福祉士養成校協会	監修 中央法規	2009・2,600円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、参加態度、取り組み成果を総合的に評価する。		【履修上の留意点】 グループ演習が中心となるので遅刻、無断欠席は厳禁。			